【学校通信】

令和２年１月 24 日

第 24 号

西中の風

伊丹市立西中学校長
大西　規之

「学校診断」への対応

１２月に実施しました「学校診断」の中で、記述によりいただいたご意見について､全体に関わること、ご意見が多かったことにつきましては、以下のように対応することとしましたのでお知らせいたします。

１　スマホの使用などについて学ぶ機会をもう少し増やしてほしい。

Ａ．年に１度、外部講師（兵庫県警察本部サイバー犯罪対策課、阪神北少年サポートセンター、携帯端末会社等）による講演会を実施しております。ＳＮＳを巡るトラブルの頻発に伴い、回数を増やす方向で考えてまいります。

２　中学生の興味、関心がありそうな方の特別講演（人気のある雑誌編集者や地元の社長や図書館長、漫画家、作家、有名タレントやスポーツ選手等）を開いてほしい。

Ａ．伊丹市教育委員会の心の匠事業、町の先生事業などで各方面から講師をお招きし、中学生の心に響くようなお話をしていただいています。ただ、予算や授業時数の都合があり、その制約の中での開催となります。ご了承ください。

３　部活動で可能ならば文化系の部活動を増やしてほい。（例）書道、カルタなど

Ａ．現在も部活動の数に対する指導できる教職員の数が絶対的に不足している状況です。１人で２つの部活動を兼ねて指導している教職員もおります。そのため、文化部にかかわらず部活動を増やすことは困難ですので、ご理解の程お願いします。

４　肌着、靴、靴下の色について、白色では、汚れて見えやすく、購入の場所や種類を探すのが難しいため、他の色でも可能にしてほしい。

Ａ．校則の見直しにつきましては、次年度以降検討委員会を立ち上げ、保護者・生徒・職員の意見を聞きながら対応してまいります。

５　夏の休日、夏休み等に部活での往復時、白帽子をかぶしてほしいです。

Ａ．夏季において、各部活動で帽子の着用を呼びかけていきたいと思います。

６　夏休みの部活動において、高温の中での活動で熱中症にならないように対応してほしい。

Ａ．各部活動で、夏季や暑い日については時間を定めて休憩を入れ、水分補給を行ったり、帽子を着用させたりするなどして、熱中症の予防に努めていきます。

７　インフルエンザの感染予防の為、マスクの着用を推進してほしい。学級内でインフルエンザが発覚した時は、必ず生徒に伝えて欲しい。

Ａ．マスクの着用については、必要に応じて呼びかけていきます。特に、体育館に全校、学年で集合する際には注意喚起を行います。また、インフルエンザが学級で確認された場合は、他の生徒に連絡を行い、予防についての指導を行います。

８　給食をもう少しおいしくしてほしい。

Ａ．市教育委員会が主催している献立検討委員会で、おいしく栄養価の高い献立を定期的に検討しているところです。少しでもおいしい給食になるよう、市教育委員会に要望しますので、ご理解願います。

日々ホームページ更新中！！

